

令和7年度Take-Off Program派遣留学生 成果報告及び意見交換 報告書

大学コンソーシアム石川
産学官連携人材育成専門部会

1. 概要

タイトル	令和7年度Take-Off Program派遣留学生 ～成果報告及び意見交換～
目的	派遣留学生の留学経験を、学生自身の今後の活動に活かす

2. 詳細

報告者	報告者1： 金沢美術工芸大学 大学院美術工芸研究科2年 報告者2： 北陸学院大学 社会学部社会学科4年
参加者	協賛企業3名 学生2名 理事16名 大学関係者7名 自治体関係者2名 コンソーシアム（含スタッフ）5名 計35名
日時	令和8（2026）年6月21日（日） 15：00～15：45
場所	金沢ニューグランドホテル 3階パラッツォ （金沢市南町4-1）

3. 成果報告



開会挨拶：佐川部会長



協賛企業挨拶



成果報告1



成果報告2

4. 質疑応答・意見交換



閉会挨拶：佐川部会長

5. まとめ

金沢美術工芸大学の報告者からは、デンマークのボーンホルム島での、工芸を通じた文化交流と、言語や食が人との繋がりを強くした体験についての報告があった。また、北陸学院大学の報告者からは、ニュージーランドのオークランドでの、バリアフリー実地調査やアンケート、ボランティア活動の結果から、インクルーシブなホスピタリティには相手を理解し尊重する姿勢と、誰もが地域の一員として自然に参加できる環境が重要であるという報告があった。

質疑応答・意見交換では、出席者より、様々な国の人々との交流についてや、AIは役に立ったかなどの質問があり、また、気候風土と感受性の関わり、非言語的コミュニケーションについての意見も述べられた。

最後に佐川部会長より、自分が何者なのかという問い、挑戦は始まったばかりであり、この留学の経験をどう活かしていくか、見守り応援していきたいという言葉が贈られた。